

健康フェスタ2024(昨年度)開催の様子

クッキング教室

(株)おいしい健康の協力により、手作りおやつクッキング教室とアプリ献立教室が開かれました。アプリ献立教室では、スマホアプリを活用することで、従来の難しい栄養計算はもはや不要な時代になっていることを体感していただきました。



ヘモグロビンA1c指先検査

アボットダイアグノスティクス(株)の協力により、当院臨床検査部のスタッフが指先採血で採取した微量(1.5 μ L)の血液から約3分でヘモグロビンA1c値を正確に測定し、結果をお伝えしました。



VRエアロバイク

本学・分子病態研究部の西村智教授が開発した、VR(バーチャル・リアリティ：仮想空間)の世界を自由に動くエアロバイクのデモを行いました。



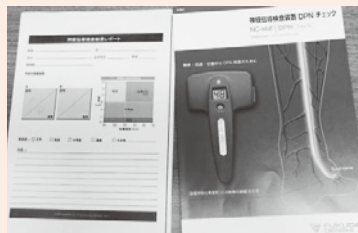
筋力測定

当院リハビリテーション部により、下肢を中心とする筋力の測定を行いました。



抹消神経伝導速度

アークレイ(株)の協力により、神経伝達検査装置「DPNチェック」を用いて、糖尿病性末梢神経障害(DPN)の早期発見に関する測定体験を行いました。



体組成測定

当院内内分泌代謝科からは、体成分分析装置「InBody」を使った体組成測定を提供しました。この測定では、部位ごとの筋肉量や体内におけるミネラル量、体脂肪量などを標準値と比較しながら把握できます。



PHRアプリ

(株)アルムの協力により、ヘモグロビンA1c測定結果を二次元コードでスマートフォンのPHRアプリに取り込み、データ連携を行いました。また、測定結果をPHRアプリに連携できた方には、糖質を抑えてもおいしいおやつ「SUNAO」(江崎グリコ(株)提供)のアイスクリームとビスケットをプレゼントしました。



血圧測定・血管年齢・食育SATシステム

後援の下野市は、食に関するさまざまな体験や、血圧測定、血管年齢測定、乳がんのしこりをチェックする体験、「しもつけ健康マイレージ」紹介などを行いました。機器に乗せるだけで栄養価の計算と食事のバランスがチェックできる「食育SATシステム」では、参加者がその日の朝食について振り返り、改善方法を学ぶ体験を提供しました。



しもつけワイズ

問 4

10月は〇〇月間です。

〇〇に入る言葉は？

①子育て

②里親

③介護